

2/15

ICTで新しい授業を導入 虻田中と洞爺中が初のリモート合同授業

虻 田中学校（瀧澤義守校長）と洞爺中学校（西村雄一校長）が、ICT（情報通信技術）を活用した合同授業を初めて行いました。

インターネットに接続したパソコンを使い、両校の1年生が画面越しに顔を合わせて道德の授業を受けました。

授業は童話「ウサギとカメ」を題材に他者の個性を尊重することの大切さを学ぶ内容で、生徒は活発に意見を交わしていました。



ICTを活用して行われた虻田中と洞爺中の合同授業

2/9

成香地区の農家・北風淳さん 北海道農業士に認定

成 香地区で農家を営んでいる北風淳さんが北海道農業士に認定されました。

農業士は、地域農業の振興などに積極的に参加・協力を行う意欲旺盛な農業者が認定されます。

認定式は札幌市内で行われ、新たに農業士となる農業者に認定証が授与されました。認定証を受け取った北風さんも町の農業振興のために決意を新たにしていました。



農業士に認定された北風さん

2/22

丈夫な子どもに育ってね 桜ヶ丘保育所で月浦獅子舞

町 の無形文化財に指定されている月浦獅子舞が、桜ヶ丘保育所で披露されました。月浦獅子舞保存会が保育所を訪れ、子どもたちの前で120年以上の歴史を誇る伝統の獅子舞を演じました。

太鼓の音が響く中、あたかも生きた獅子のように動き回る様子に子どもたちは驚いた表情。大きな口を開けて近づいてくると、少し怖がりながらも先生に見守られて頭をかじってもらい、厄払いをしていました。



子どもたちの前で披露された月浦獅子舞

2/17

老後の資産管理や防犯を学ぶ 消費者啓発セミナー開催

ウ イメンズネットワーク洞爺湖（青木佐智子代表）の消費者啓発セミナーが行われました。

約50人が参加し、札幌の行政書士で北海道消費者協会の非常勤講師、棚川伊知郎氏が講師を務め、遺産相続や老人福祉施設の選び方、認知症などの対策を説明しました。加えて、昨年から多発している高齢者の資産を狙った特殊詐欺事件を取り上げ、安全なシニアライフを送れるよう注意を呼び掛けました。



遺産相続や詐欺対策などを学んだ消費者啓発セミナー

2/27

子どもたちに喜んでもらいたい 洞爺湖町商工会女性部が文具寄贈

町 内の新入学児童のために、洞爺湖町商工会女性部（横山節子部長）が、8色入り水性ペン63セットを教育委員会に寄贈しました。同女性部は、例年、町内イベントを通じて地域貢献をしています。コロナ禍により中止となっていたため文具を寄贈。

横山部長は「少しでも喜んでもらえれば」と話し、受け取った渋川教育長は「学習の基本は『書くこと』、楽しく学習できると思います」と感謝しました。



文具を寄贈した商工会女性部のメンバー

2/22

子どもたちに農業を知ってほしい えんプロジェクトが絵本寄贈

洞 爺湖町と豊浦町の若手農業者で構成するえんプロジェクト（小林裕司代表）が、農作物に関する仕掛け絵本8冊を教育委員会に寄贈しました。

「地域の子どもたちに農業を知ってもらい、食育に貢献したい」との思いで購入した絵本を、小林代表と尾形光章さんが渋川教育長に手渡しました。

渋川教育長は「非常にありがたい。子どもたちが関心を持ち、たくさん読んでほしいです」と話し、受け取りました。



渋川教育長に絵本を手渡す小林代表（中央）と尾形さん（右）

3/4

桃の節句を祝う ひなあられをつくろう

3 月3日のひなまつりに合わせて、洞爺財田自然体験ハウスふれあい行事「ひなあられをつくろう」が開催されました。

ひなまつりの歴史や関東・関西のひなあられの違いを学び、もち米を揚げてひなあられを作りました。他にも、もち米を使った伝統食「道明寺粉」で生地をこね、あんこを包んで桜餅を作りました。参加した子どもは、やけどに気を付けながらあられを揚げ、最後はおいしそうに食べていました。



ひなあられを揚げる子ども

3/2

税をテーマとしたポスター 虻田中学校生2人入選

第 37回全道中学生の税をテーマとしたポスター（北海道主催）で虻田中学校（瀧澤義守校長）2年の田所来望さんが北海道知事賞入選、菊池紅羽さんが胆振総合振興局長賞を受賞し、同振興局神山広之課税課長から表彰状と図書カードが贈られました。

受賞した田所さんは、「絵を描くのが好きなので、うれしいです」、菊池さんは「受賞するとは思わなかったので、びっくりしました」と話しました。



北海道知事賞入選の田所さん（左から2人目）と胆振総合振興局長賞入選の菊池さん（右から2人目）